■特長

この時計は、標準電波を受信して正確な時刻を表示する電波修正時計機能を持っています。

●電波修正機能（2局自動選択受信） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 毎日、自動的に標準電波（JJY）を受信し、時刻を修正します。40kHz（福島局）と60kHz（九州局）を自動的に選択し、受信します。強制受信も可能です。
●カレンダー表示機能 ・・・・・・・・・・・・・・ 標準電波から解読した「月・日」を表示することもできます。時差修正に連動した日付を表示できます。
● 非受信回数表示機能 ・・・・・・・・・・・・ 受信できなかった回数（日数）が表示され、受信状況が分かります。安定的な受信ができている場合「0」を表示します。最大「9」まで計数表示します。
●時差修正機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 日本時間と時差のある地域へ行った際、現地の時刻に合わせることができます。
●非受信時の時刻合わせ機能 ・・・・・・ 標準電波を受けられない場合、時刻合わせをして一般のクオーツ精度で使用できます。

■製品仕様

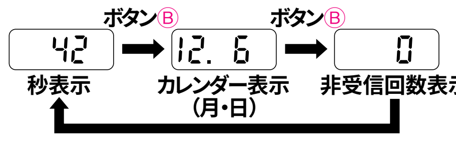
1. 水晶振動数 ・・・・・・ 32.768Hz（Hz＝1秒間の振動数）
2. 精度 ・・・・・・・・・・・・ 平均月差±20秒（電波受信による時刻修正が行われない場合、気温5℃～35℃において腕につけた場合）
3. 作動温度範囲 ・・・・ 0℃～＋50℃
4. 駆動方式 ・・・・・・・・ ステップモーター式（時・分針）：1分運針
5. 表示体 ・・・・・・・・・・ FE（電界効果）型ネマチック液晶
6. 使用電池 ・・・・・・・・ 小型リチウム電池 SB－T17. 1個
7. 電池寿命 ・・・・・・・・ 約3年
8. 電波受信機能 ・・・・ 2局自動選択受信機能・・・40kHz（福島局）と60kHz（九州局）を自動的に選択。
自動受信 ・・・・・・・・・・・・・・ AM2:30～AM6:30. 受信状況によって受信回数は異なる。
強制受信機能
※受信から次の受信まではクオーツの精度で動きます。
9. 電子回路 ・・・・・・・・ 発振、分周、駆動、受信（C－MOS－IC）：2個

※上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

■各部の名称とはたらき

※ボタンⒶは誤入力防止のため、ケースに埋め込まれています。操作のため先が細いものをご使用ください。
※分針は1分運針のため、59秒までその分位置に留まっていますので、ご注意ください。

●ボタンⒷを押すと ➡ の順序でパネル表示部が切り替わります。

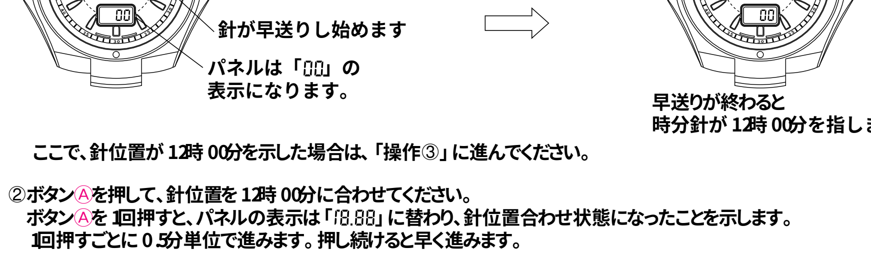


※上記は受信状態が良好の場合の表示です。非受信回数は受信状況によって異なります。受信ができていない場合はカレンダーが表示されません。
詳しくは→「■ご使用方法」を参照）
※非受信回数表示は約2秒でカレンダー表示に切り替わります。

■ご使用方法（時刻の合わせかた）

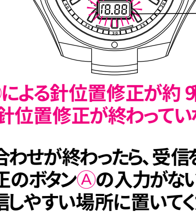
この時計は標準電波を受信して正確な時刻を表示することができます。ご購入後お使いになる前に、標準電波を受信してからご使用することをお勧めします。

●はじめてご使用される場合
①ボタンⒷを3秒以上押し続け、針位置（時・分）を確認してください。



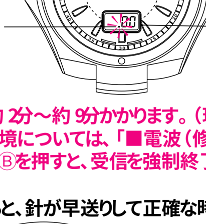
ここで、針位置が12時00分を示した場合は、「操作③」に進んでください。

②ボタンⒶを押して、針位置を12時00分に合わせてください。
ボタンⒶを1回押すと、パネルの表示は「f8.88」に替わり、針位置合わせ状態になったことを示します。
1回押すごとに0.5分単位で進みます。押し続けると早く進みます。



※ボタンⒶによる針位置修正が約9秒間なかった場合、自動的に受信状態になります。表示も「.00」等に切り替わります。まだ針位置修正が終わっていない場合、ボタンⒶを押して合わせることができます。

③針位置の合わせが終わったら、受信を行います。
針位置修正のボタンⒶの入力がないと自動的（約9秒後）に受信状態に切り替わります。
電波の受信しやすい場所に置いてください。（例、窓際で他の電子機器の影響のない場所）

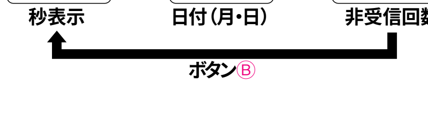


※通常受信には約2分～約9分かかります。（環境によって異なります。）
※受信しやすい環境については、「■電波（修正）時計とは」をご参照ください。
※受信中にボタンⒷを押すと、受信を強制終了しますので、ご注意ください。

④受信が完了すると、針が早送りして正確な時刻を示します。

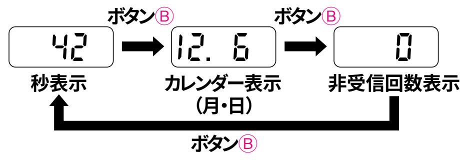
※電波が正しく受信できない環境にある場合、一定時間受信を継続した後自動的に受信を中止します。受信継続時間は環境等によって異なりますが、約9分です。受信を中止した場合、受信前の時刻に基づく表示が始まります。
（→「■受信ができない場合」を参照ください）

⑤ボタンⒷを押して、パネルの表示内容を確認してください。
日付が正しく表示されることと、非受信回数が「0」になっていることを確認してください。



非受信回数が「0」以外が表示される場合は、新たな受信ができなかったことになります。

●非受信回数について
・自動受信の状態を非受信回数で確認できます。
・自動受信時間に時計が置かれている場所の受信状況がわかります。
ボタンⒷを押して、パネル部の表示される非受信回数を確認します。

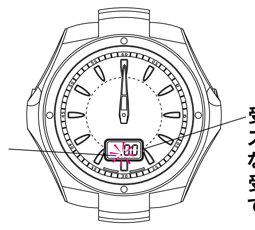


非受信回数	受信状況	その後していただきたいこと
0	受信が良好にできている	今の環境でご使用ください。（使用または保管場所）
1～9	この回数（日数）自動受信ができていません。例）非受信回数「2」の場合 2日連続で自動受信ができなかった。	いつもの使用環境の場合は、使用環境を変えてみてください。その後非受信回数を確認してみましょう。必要に応じ、強制受信することをお勧めします。（→「●強制受信のしかた」参照）

●強制受信のしかた（非受信回数が多くなった場合）
・この時計は、基本的には自動受信により修正を行いますが、非受信回数が増えた場合、強制的に標準電波を受信することもできます。
・その場で電波が受信できるかを確認できます。
・針位置の確認もできます。
①ボタンⒷを3秒以上押し続けると、針位置が12時00分位置に早送りします。

※針位置が12時00分でない場合は、ボタンⒶを押して合わせてください。
（→詳しくは「●はじめてご使用される場合」を参照）

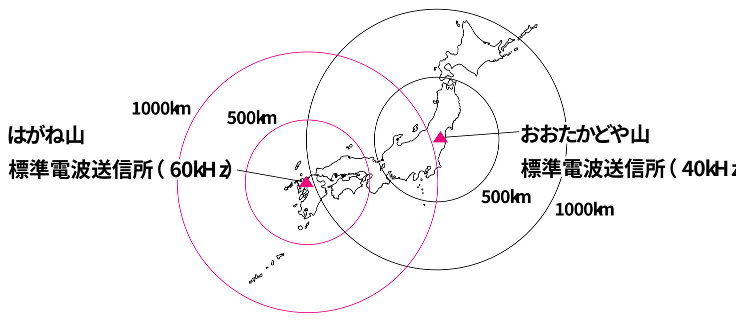
②基本位置（12時00分）を表示後、自動的（約9秒後）に受信状態に切り替わります。
電波の受信しやすい場所に置いてください。（例、窓際で他の電子機器の影響のない場所）



※通常受信には約2分～約9分かかります。（環境によって異なります。）
※受信しやすい環境については、「■電波（修正）時計とは」をご参照ください。
※受信中にボタンⒷを押すと、受信を強制終了しますので、ご注意ください。

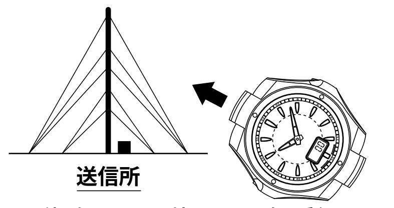
■電波（修正）時計とは

●電波修正機能とは
・正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。
●標準電波とは
・通信総合研究所が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2箇所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。
標準信号の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『セシウム原子時計』によるものです。
●電波受信について
・各々の送信所からの受信範囲の目安は、条件にも異なりますがおおむね1,000kmです。個別の状況により異なりますが、東日本地域は40kHz（福島送信所）、西日本地区は60kHz（九州送信所：福岡と佐賀の県境）の電波が受信しやすいと想定されます。
・ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物などの影響などによって、受信できない場合はあります。



⚠注意
・電波障害等により、誤った受信をした際は、誤った時刻を表示する場合があります。
また、受信場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このようなときは、場所を変えてお使いください。
・受信できない場合は、クオーツの精度で動きます。
・設備のメンテナンスや落雷の影響などにより停波することがあります。停波に関する情報は、通信総合研究所（CRL）のホームページ（http://jjy.crl.go.jp）をご覧になるか、お客様相談室にお問い合せください。

●ご使用場所（保管場所）
本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ電波の受けやすい窓際などに置いてください。また、電波ノイズを発生させるものの近くでのご使用は避けてください。



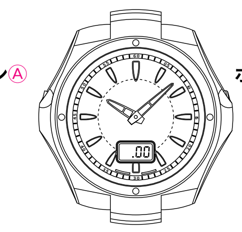
12時位置のアンテナ部を送信所のある方向に向けるとより良い受信環境になります。
自動受信時間帯（AM2:30～AM6:30）に時計を置く場所は受信しやすい環境を選びましょう。

その他、次のような環境下では正確に受信できないことがあります。
a) ビルの中、ビルの谷間、地下。
b) 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
c) テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
d) 工事現場、空港の近く、軍事基地や交通量の多い場所など、電波障害の起きる場所。
e) 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
f) スチール机等の金属製の家具の上や近く。

■受信できない場合（手動時刻合わせ）

・標準電波を正しく受信できない環境または地域で、時刻を合わせることができます。
・時刻表示のみの機能としてご使用ください。（日付の合わせはできません）
※尚、標準電波が受信できる場所に移動した場合は、その後、自動的に受信します。

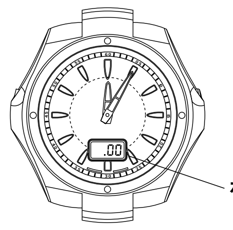
①ボタンⒶとボタンⒷを同時に3秒以上押し続けてください。この操作で以前の受信情報がすべて消去されます。



②ボタンⒶを押して、針位置を12時00分に合わせてください。
パネルの表示は「f8.88」に替わり、針位置合わせ状態になったことを示します。
1回押すごとに0.5分単位で進みます。押し続けると早く進みます。

※ボタンⒶによる針位置修正が約9秒間なかった場合、自動的に受信状態になります。表示も「.00」等に切り替わります。まだ針位置修正が終わっていない場合、ボタンⒶを押して合わせることができます。

③針位置合わせが終わり、パネル表示部が「f8.88」の点滅が「.00」に替わってから、
ボタンⒶを押すと、1分単位で時刻の合わせができます。押し続けると、早く進みます。



「時針」と「分針またはパネル部の分表示」を見て、時刻を合わせます。
※ボタンⒶを押し続けた際の針の動きは不連続な動きですが異常ではありません。
※時刻は12時間制で合わせるので、午前午後は関係ありません。

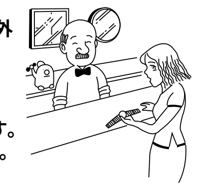
<秒を正確に合わせる方法>
（1）10:00の時報で合わせる場合、9:59になってから時刻を10:00に合わせる。
（2）時報を待つ間に、パネル表示部に「秒」が表示されていることを確認。
（3）時報と同時にボタンⒶを押してください。分の「00」表示から9秒後には秒表示に切り替わります。

■時差修正について

・日本時間と時差のある地域へ行った際、現地の時刻に合わせることができます。
・時差修正すると時差に応じたカレンダーが表示されます。
※この時差修正をするには、標準電波が受信できていることが必要です。
①ボタンⒶを押すと、パネル表示部に「時」が表示されます。
現在の時刻の「時」だけを24時間制の数値で表示します。
（例）午後7時ならば、「19」と表示されます。

②さらにボタンⒶを押して、現地の時刻に合わせてください。
パネルの表示を見て、24時間制の「時」で合わせます。
ボタンⒶを押すごとに「＋1時間」になります。ボタンⒶを3秒以上押し続けると日本時間に戻ります。
※時差修正をすると時分針が早送りを始めます。早送り中でもボタンⒶによる「時差合わせ」は可能です。
③時分針が早送り終わると、時差修正が完了します。
※早送りが終わると、ボタンⒷによるパネルの表示切替が可能となります。
※時差修正後、表示されるカレンダーはその時差に連動した日付が表示されます。ただし、日本時間から「＋4時間地域」は日付変更線を越えている地域に当たりますが、「＋3時間地域」がサマータイムを施行する際の日付表示を優先して計算した結果を表示しますのでご注意ください。
※時差設定後は、受信（自動および強制）を行いませんので、時差が不要になった場合は、ボタンⒶを3秒以上押し続け日本時間に戻してください。

■電池について



（1）電池寿命
この時計は新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約3年間作動します。ただし、自動受信以外に強制受信1日1回を基準としていますので、それ以上強制受信を行った場合は上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。
（2）最初の電池
お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。
（3）電池寿命切れ予告機能
パネルに「Lo」の表示がでたら、電池寿命切れが間近であることを示しています。お早めにお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。電池寿命切れ予告機能がはたらくと、強制受信ができなくなります。
（4）電池交換
①電池交換は、お買い上げ店で「アルバ専用電池」とご指定の上、ご用命ください。
②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
③電池交換は、保証期間内でも有料となります。
④電池交換などで裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能に合った防水検査をご依頼ください。特に10気圧以上のものは検査が必要です。

⚠警告
1.お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
2.やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はただちに幼児の手が届かないところに保管してください。
3.万一飲み込んだ場合は、体に害があるため直ちに医師とご相談ください。

⚠注意
1.破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
2.この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
3.「常温（5℃～35℃）からはずれた温度」下で長時間放置すると電池寿命が短くなることがあります。

■電池交換後のお願い（システムリセット）

・電池交換後または、万一異常な表示になった場合、以下の操作を行ってください。
時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。
●システムリセットとその後のご使用方法について
①ボタンⒶとⒷを同時に3秒以上押し続ける。
パネル部の表示が消えて、その後「f8.88」の点滅がはじまります。
②ボタンⒷを押して針位置を12時00分に合わせます。
そのまま受信が始まりますので、受信しやすい場所に置いてください。
※針位置合わせ以降は「■ご使用方法　●はじめてご使用される場合」を参照ください。
※その場で、受信ができない場合は、「■受信できない場合は（手動時刻合わせ）」を参照し、時刻合わせをしてください。その後、受信可能な場所で自動・強制受信を行ってください。

■こんな時には、

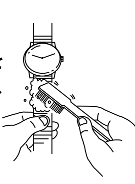
現　象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった。	電池容量がなくなった。	お早めに電池交換をお買上げ店またはセイコー取扱店にご依頼ください。
パネル表示部に「Lo」表示が出ている。	電池寿命切れが間近です。	
受信できない。非受信回数が増えている。	受信中の時計の向きが送信所の方向を向いていない。	受信中の時計の向きを変えてみてください。→詳しくは「■電波（修正）時計とは」を参照
	標準電波（JJY）送信所の都合で停波している。	停波に関する情報は、通信総合研究所（CRL）のホームページ（http://jjy.crl.go.jp）をご覧ください。
	自動受信時間帯に時計を置いている場所の電波が弱い、または電波の届かない環境下にある。標準電波を受信できていない。	非受信回数を確認し増えている場合は、標準電波をより受信しやすい環境で強制受信してください。また、自動受信時間帯（AM2:30～AM6:30）に時計を置いている場所を変えてみましょう。
時計が一時的に進む／遅れる。受信ができているのに正確な時刻を表示しない。日付がずれている。	ノイズ等の影響で間違った時刻・日付を受信した。（誤受信）	ノイズを発生するものから遠ざけ、標準電波をより受信しやすい環境で強制受信してください。
	暑いところ、または寒いところに放置した。	常温に戻れば元の精度に戻ります。必要に応じて強制受信をしてください。元に戻らない場合は、お買上げ店にご相談ください。
	テレビ、携帯電話等磁気を発生するもののそばに置いた。磁気の影響で針位置がずれている。	磁気から遠ざけ、針の基本位置を修正してください。（→「■ご使用方法　●はじめてご使用される場合」参照）元に戻らない場合は、お買上げ店にご相談ください。
	落したり強くぶつけたりまたは激しいスポーツをした。強い振動が加えられ、針位置がずれている。	針の基本位置を修正してください。（→「■ご使用方法　●はじめてご使用される場合」参照）元に戻らない場合は、お買上げ店にご相談ください。
時刻が数時間単位でずれている。ボタンⒷを押しても強制受信をしない。	時差修正が行われている。	時差修正が行なわれていると、強制受信ができなくなります。時差の設定が不要の場合は、ボタンⒶを3秒以上押し続け、時差修正を元に戻してください。
日付が表示されない。	電池交換やシステムリセット後、標準電波が受信できていない。	標準電波を受信できる場所で強制受信をしてください。
時差修正ができない。		
ガラスのくもりが消えない。	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	お買い上げ店にご相談ください。

※その他の現象は、お買上げ店にご相談ください。

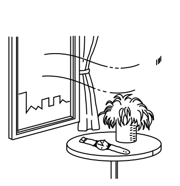
■使用上の注意とお手入れの方法

⚠注意
●日常のお手入れ
・ケース・バンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にしてご使用ください。
・時計をはずしたときには、柔らかい布などで汗や水分を拭き取ってください。汚れも取れ、ケース、バンド、およびパッキンの寿命がちがってきます。

金属バンド
・金属バンドは時々柔らかい歯ブラシなどを使い、石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。その際に、非防水の時計の場合には時計本体に水がかからないようにご注意ください。



皮革バンド
・革バンドは水分を吸い取るように軽く拭いてください。こすうるように拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

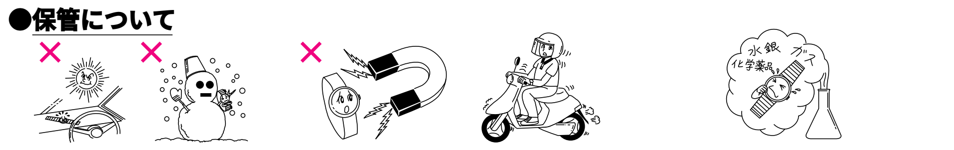


軟質プラスチックバンド
・ウレタンバンドなど軟質プラスチックでできているバンドは、蛍光灯や太陽光の下に長時間放置されたり、汚れが染み込んだりすることによって、色あせ・変色、あるいは硬くなったり切れたりする場合があります。特に半透明のウレタンバンドは、変色などが目立ちやすく、条件によっては数ヵ月のご使用で起こり始める場合があります。湿気の多い場所に保管したり、汗や水で濡れたまま放置しておくと、早く変色することがありますので、汚れたときは、石けん水で洗ってください。ただし、化学製品ですので溶剤によっては変質する場合があります。

●非防水時計は、水（水道の水はね、雨、雪など）や多量の汗にご注意ください。万一、水や汗でぬれた場合には吸湿性のよい布などで水分を拭きとってください。
●日常生活用強化防水時計は海水中などでの使用のあと、化学薬品類を使用せず、ためた真水で洗ってください。
●回転ベゼルつきの時計の場合、ベゼル下に汚れなどがたまり、回転が重くなったりしますので清潔にしてご使用ください。

⚠注意
●かぶれやアレルギーについて
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
・かぶれの原因として考えられますのは、
1.金属・皮革に対するアレルギー
2.時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
・万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し医師にご相談ください。

●保管について



・「-5℃～+50℃からはずれた温度」下では、機能が低下したり、停止する場合があります。
※この時計は常温（5℃～35℃の範囲内）で腕に付けた時に安定した精度を得られるように調整してあります。よって温度によって多少の進み遅れが生ずることがありますが、常温にもどればもとの精度にもどります。
・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
・極端にホコリの多いところに放置しないでください。
・強い振動のあるところに放置しないでください。
・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。（薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、及びそれらを含有するもの－ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など－水銀、ヨウ素系消毒液など）
・温泉や防虫剤の入ったひきだしなど特殊な環境に放置しないでください。

⚠注意
●防水性能
・時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用ください。
・水分のついたままリュウズを回したり引き出したりしないでください。時計内部に水分が入ることがあります。

			洗顔や雨など一時的にかかる水滴。	水泳や水仕事など長時間水にふれる場合。	空気ボンベを使用しない潜水（スキンダイビング）や入浴。	空気ボンベやヘリウムガスなどを使用する本格的な潜水。	水滴がついた状態でのボタン操作。
非　防　水		ケースの裏に WATER RESISTANT の表示のない時計	×	×	×	×	×
日常生活用防水		ケースの裏に WATER RESISTANT の表示のある時計	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水	5気圧防水	ケースの裏に WATER RESISTANT 5・10・15・20BARか、WATER RESISTと◎マークの表示のある時計	○	○	×	×	○
	10・15・20気圧防水		○	○	○	×	○

●入浴について
・10気圧以上の防水の場合、時計をつけたまま入浴してもかまいませんが下記のことに注意して下さい。
・時計に、石けんやシャンプーがついた状態で、リュウズ操作やボタン操作を行わないでください。
（防水機能が維持できなくなることがあります）
・温水で時計が温まりますと、多少の進み、遅れを生ずることがあります。ただし、常温にもどれば精度はもとにもどります。

⚠警告
・日常生活用防水（3気圧）の時計は水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
・日常生活用強化防水（5気圧）の時計は、スキンダイビングを含めて全ての潜水に使用できません。
・日常生活用強化防水（10・20気圧）の時計は、飽和潜水／空気潜水には使用できません。

⚠注意
提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによって衣類や手・首などを傷つける事がありますのでご注意ください。

●その他、携帯上ご注意いただきたいこと
・バンドの着脱の際に中留などで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
・特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合もありますので十分ご注意ください。

●定期点検について
・ながくご愛用いただくために、2～3年に一度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。保油状態・漏液の有無・汗や水分の侵入などの点検をお買い上げ店でご依頼ください。点検の結果によっては分解掃除を必要とする場合があります。
・部品（電池）交換の時は、「純正部品（電池）」とご指定ください。電池が切れたまま長時間放置しますと漏液などで故障の原因となりますので早めに交換をご依頼ください。
・定期点検や電池交換の際にはパッキンやバネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

■液晶パネルについて

この時計の〈液晶パネル〉は、5年を過ぎますとコントラストが低下したり数字が読みにくくなります。
お買い上げ店に交換をお申しつけください。有料にて申し受けます。

■修理について

①保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。
②この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年間を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。
（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。）
③修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元通りにならない場合がありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
④修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替部品を使用させていただいたり、またはケースごとの一式交換や代替品に替わることがありますので、ご了承ください。
⑤修理の内容によっては、修理代が標準小売価格を上まわる場合があります。その他、わからない点がありましたら「セイコーウオッチ株式会社お客様相談室・お客様相談係」へお問い合わせください。